

保育を構想する思考力の育成

関西学院大学教育学部
橋本真紀
2015年11月28日

保育士養成に影響する社会状況

- 少子化の進行、保育ニーズの増大
 - 保育ニーズの多様化、課題の複合化
-
- 子ども子育て新制度の施行（2015年度4月1日）
 - ・ 幼児期の学校教育と保育機能の一体的運営の促進
 - ・ 法律に位置づく保育形態の多様化
 - ・ 子育て支援員研修制度の創設
 - 保育士養成校の短大から4年制への転換
約10年（～2013年現在）の入学定員・学校数ベース
大学：15.5%（89校） 32.6%（240校）
短大：67.6%（236校） 53.0%（242校）
一方で、入学定員は大きく伸びていない

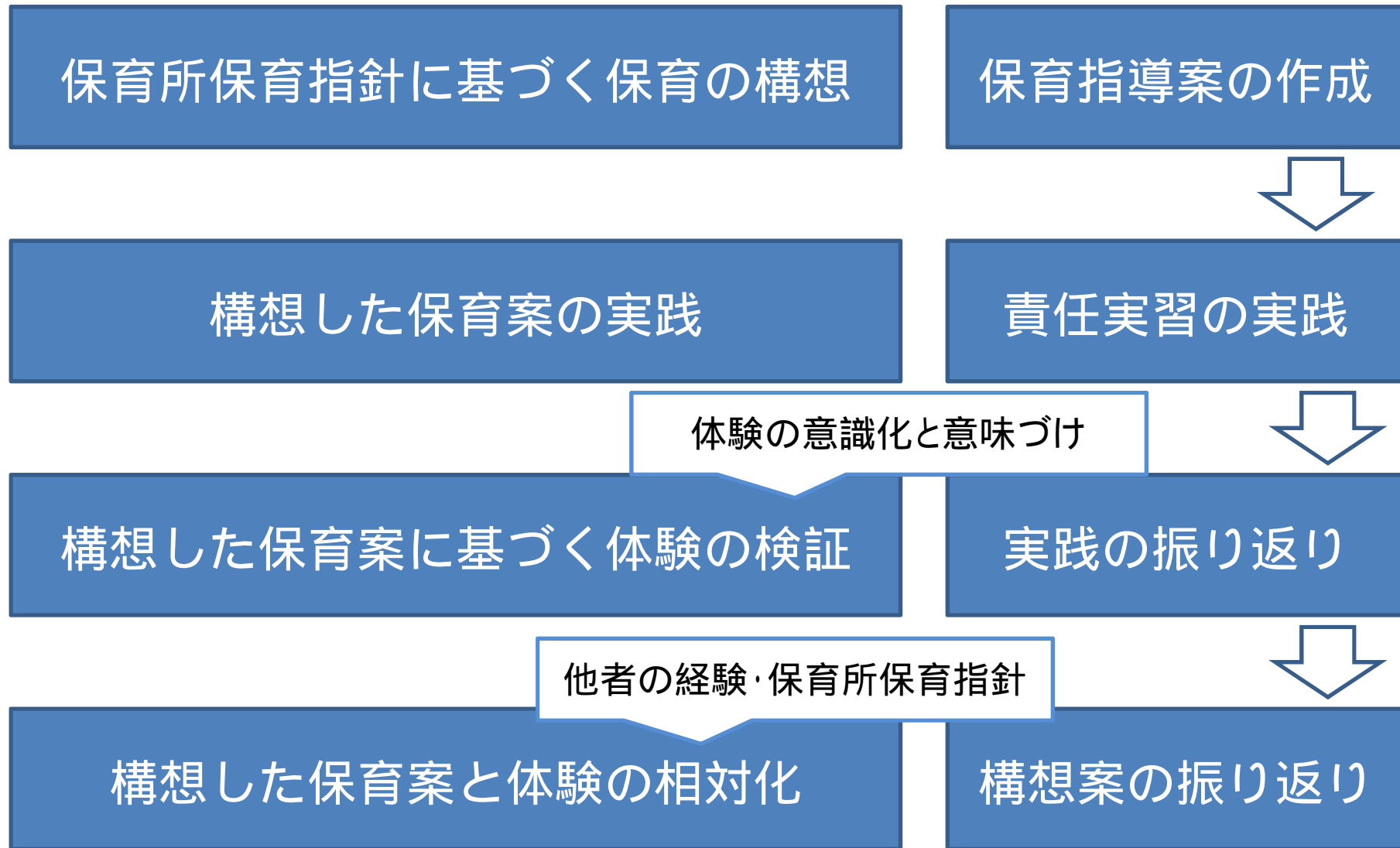
保育実践に求められること

- 多様かつ複合的なニーズを有する保育対象への対応
- 多様な保育形態における保育の専門性の発揮
- 学校教育と広義の教育、ケアワークの並行的展開
- 生活と未分化な広義の教育の定義と意義の明確化
- 福祉と教育の原理や価値の再構成



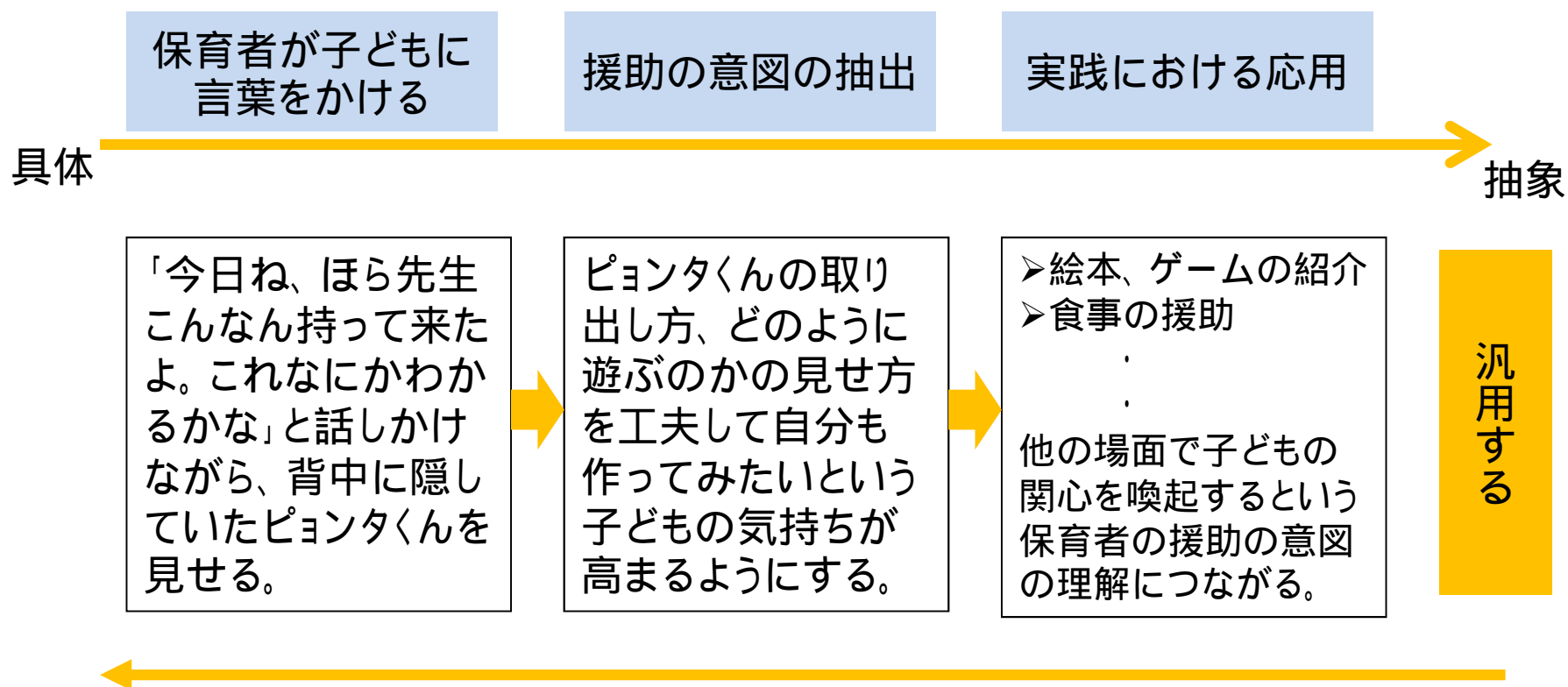
思考力

保育における思考力の育成



思考力の育成における理論と実践の往還の意義

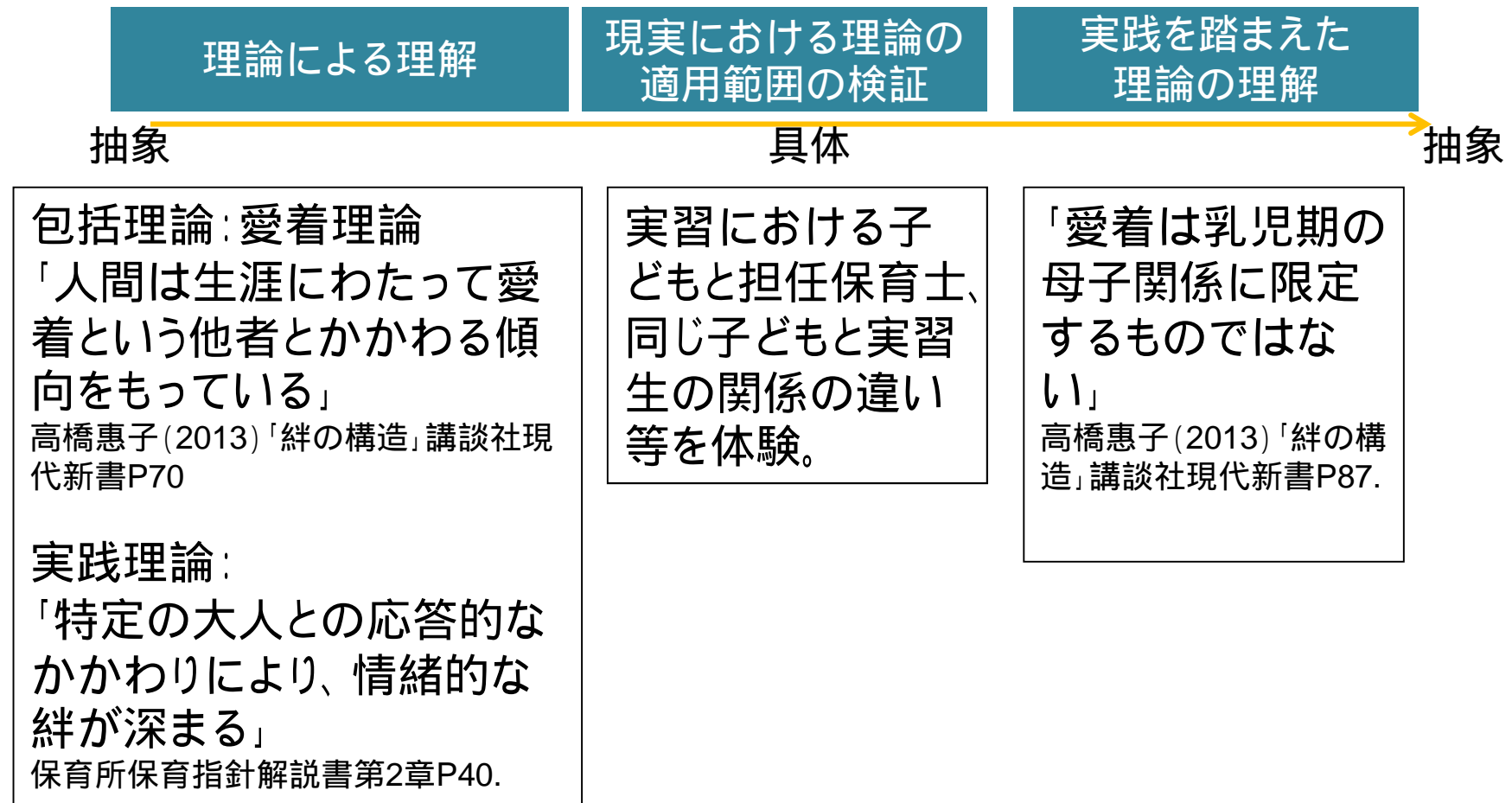
● 具体的 抽象的



思考力の育成における理論と実践の往還の意義

●単純（言語）

複雑・総合的



思考力の育成における理論と実践の往還の意義

- 理論として整理したり、単純化しないとみえないことがある。
- 理論として学んだことを多様なリアリティーの中においてその性能を確認する。
- リアリティーから普遍的なものを析出し、実践で応用する。

課題

教養に下支えされた実践力の養成